

夏休みに貴重な体験 公民館教室

町公民館で「夏休み子ども教室」が開催されました。

7月19日の「ケプラー式望遠鏡づくり」には、21人が参加しました。お菓子の空き容器やペットボトル、老眼鏡、虫眼鏡など、身近な材料を組み合わせ制作に挑戦。初めてカッターを使う子もあり、工作の難しさ楽しさを味わいながら、光の屈折や像の仕組みに触れました。

「難しかったけど楽しかった」「身近なもので望遠鏡が作れて驚いた」「子どもと楽しい時間が過ごせた」などの感想が寄せられ、楽しく科学を学ぶ時間になりました。



慎重にカッターを使いパーツを切り出します

7月28日の「陶芸教室～小皿づくり～」は、坂下明美さん(福島)を講師に迎え、31人が参加しました。正方形の粘土を丸や花、葉の形に切り抜き、半円の型に押しつけて形を整えた後、竹串やようじを使って内側に思い思いの模様や絵を描きました。

「いつも家で使っているけれど、今年はおじいちゃんおばあちゃんにプレゼントするんだ」と話しながら作る参加者もいました。



先生からのアドバイスを真剣に聞く参加者



先生の絵付けに見入る参加者

8月5日の「達磨絵付け教室」には今井裕久先生・夏先生(高崎市)を講師に、15人が参加しました。

直径20cmほどの達磨に墨汁で顔を描き、白い絵の具でおなかに名前を入れました。

教室では、大型モニターを使って達磨の歴史や由来を学び、先生による実演の際には会場内が静まり返るほど集中した空気に包まれました。



達磨の模様の書き方のアドバイスを受ける参加者

顔のパーツには、目は鶴、鼻から頬は亀を表す意味があると教えられ、子どもたちはその意味を大切にしながら、左右対称になるように慎重に筆を走らせた。

地域とつながる、学びの時間

月1無料学習会が8月4日、にこにこ甘楽で開催されました。この取り組みは、NPO法人「みんなのおうえん団」の協力のもと、学生ボランティアが小中高生に勉強を教えるものです。

参加した45人の子どもたちはそれぞれ夏休みの宿題に取り組み、分からないところを学生たちに教えてもらいながら学んでいました。また、こども食堂「カラフルキッチン」による昼食も提供され、三木結愛さん(新屋小2年)は「先生がやさしく教えてくれて楽しかった。お昼ご飯もおいしかった」と話し、充実した時間となりました。



県産木材の魅力を感じ 親と子の木工広場

第40回親と子の木工広場(富岡木材組合・町建設業協会・県建築業組合連合会富岡支部主催)が7月27日、富岡製材協同組合プレカット工場(白倉)で開かれ、小学生と保護者24組55人が参加しました。

参加者は、事前に用意した設計図をもとにしたり、その場で木材を手にとり考えたりしながら、県産木材を使った作品づくりに挑戦しました。



親子で力を合わせて作品を作る参加者

力作ぞろいの展示に力つめる目も真剣



8月5日から22日には、ら・ら・かんらで作品展が開かれ、棚やイスなど18点が展示されました。それぞれの個性や創意工夫が感じられる作品が並び木材の持つ温かみや美しさなど、その魅力を訪れる人々に伝える場となりました。



空手道 全国舞台で輝く林姉妹の挑戦

第67回小学生・中学生全国空手道選手権大会が8月2日、3日に盛岡タカヤアリーナで開催され、林心優さん・愛莉さんが見事な成績を収めました。

林心優さん(甘楽中3年)はベスト8入り。「自分らしい試合ができたが、勝てなくて悔しい」と振り返りました。

林愛莉さん(甘楽中1年)は優勝を果たし、見事3連覇を達成。決勝は延長にもつれ込む接戦となりましたが「連覇がかかっていた不安と緊張もあったが、最後は自分らしい組手で攻め切った」と笑顔を見せました。

町長は「町の誇りです。練習を頑張っていて、これからも良い成績を残せるよう期待しています」とエールを送りました。



森平町長に結果報告する心優さんと(右)愛莉さん(中央)

鳳凰聖徳 新酒鑑評会で金賞受賞！

清酒の品質や製造技術の向上を目的とした2024酒造年度(24年7月～25年6月)全国新酒鑑評会が開かれ、聖徳銘醸株式会社(白倉)の大吟醸「鳳凰聖徳」が最高賞の金賞を受賞しました。全国から809点(うち県内15点)の出品があり、202点(うち県内5点)が金賞酒に選ばれ、同社の受賞は県内最多の通算19回目です。

工場長で杜氏の瀧澤幹夫さんは「今年の米は酒造りには扱いが難しかったが、強い麴を使い仕込み方を工夫することで、うまく対応できたと思います。華やかな香りとほのかな甘み、キレのよさなど、技術が問われる中で納得のいく1本になりました。地元の方にも楽しんでもらいたいです」と笑顔を見せました。



森平町長に金賞受賞を報告する瀧澤工場長(右)

園児がつなぐ平和の心

かんら保育園(妙見良子園長)は8月6日、2～5歳児を対象に平和学習を行いました。

園長先生が「平和ってどんなこと?」と問いかけながら、戦争や原爆をテーマにした絵本を読み聞かせ「けんかをしない、お友達の嫌がることをしない・言わない」の3つの約束を園児と一緒に確認しました。



真剣な表情で耳を傾ける園児たち



園長先生の「小さな“しない”が平和につながる大事なこと」という語りかけに、山田泰新くんは「絵本はちょっとこわかったけど、友達と仲良くしたいと思った」と素直な気持ちを話してくれました。

また、年長児は平和への願いを込めた折り鶴を群馬県の形に貼り合わせ、完成した千羽鶴は広島「原爆の子の像」へ奉納されました。

食を通じ絆を深める およこの食育教室

甘楽町食生活改善推進協議会(柏葉栄子会長)は、7月23日・28日・30日、ここにこ甘楽で「およこの食育教室」を開き、3日間で21組52人が参加しました。

献立は「コーンシュウマイ」「カラフルいり豆腐」「バナナミルク」で、参加者は親子で協力しながら料理を作り「食」の魅力やバランスの良い食生活について学びました。

赤樹樹さん(新屋小1年)は「友達と先生に教えてもらいながら作るのが楽しかった。嫌いなものも食べられて、全部おいしかったです」と振り返りました。



食改推会員のアドバイスを受け料理に挑戦